

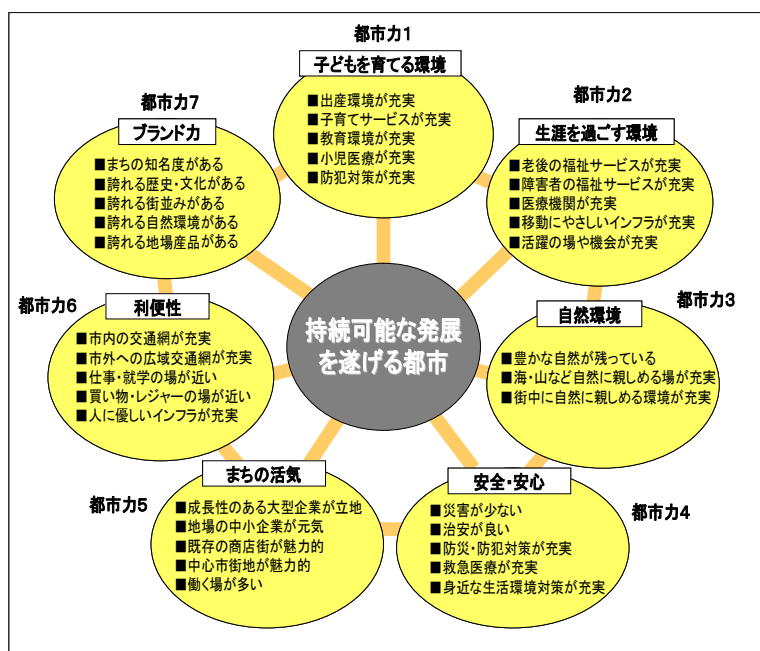
第3章 重点プログラム

1 重点プログラムの前提条件

都市が100年後、さらにその先まで持続可能な発展を遂げるためには、都市としてのバイタリテイ（生命力）が必要で、源泉になるのは“都市が持つ魅力”です。

その魅力には多様な側面がありますが、一つひとつを都市の力（都市力）と定義するならば、未来においても色あせることのない普遍的な都市力があります。それは、「1 子どもを育てる環境」、「2 生涯を過ごす環境」、「3 自然環境」、「4 安全・安心」、「5 まちの活気」、「6 利便性」、「7 ブランド力」という『7つの都市力』であると考えます。

この7つの都市力を常に高いレベルで備える都市が、未来に向かって持続可能な発展を遂げる都市であり、本市が目指すべき究極の姿です。



2 重点プログラムの位置付け

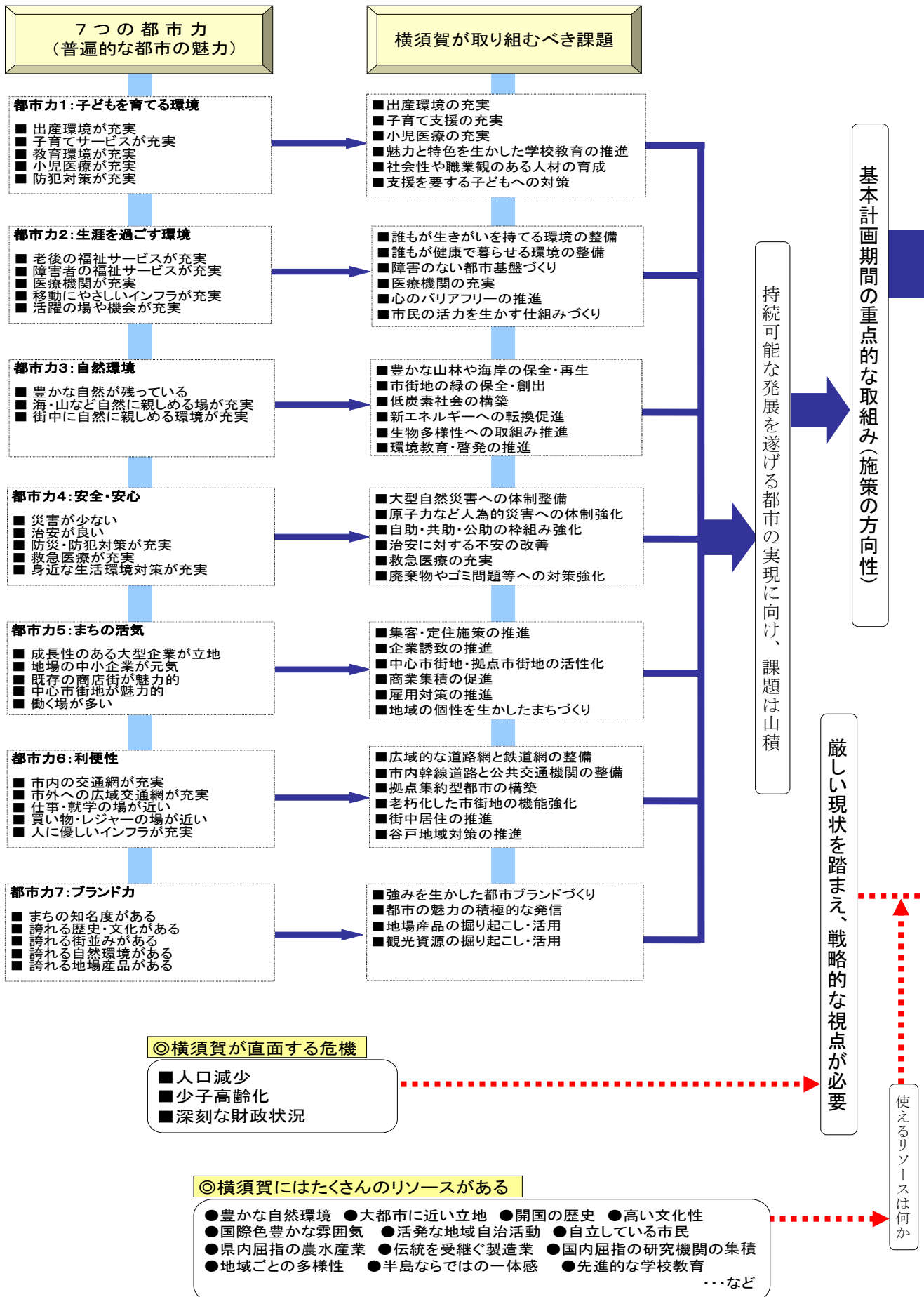
基本計画では、基本構想が掲げる都市像「国際海の手文化都市」の実現を目指すとともに、その先の未来も視野に入れ、横須賀が持続可能な発展を遂げる都市となるための土台づくりに、計画期間（11年間）の中で全力をあげて取り組む必要があります。

今日の本市を取り巻く社会経済環境、また、これまで行ってきた行政評価や市民アンケートの結果などからは、本市の強みでさらに伸ばすべき点や、弱みを克服し強みに変えていかなければならない課題を導き出すことができます。これらを「7つの都市力」の視点から整理すると、それぞれの要素において課題があります。

課題の克服には、厳しい財政状況を踏まえ、横須賀が持っているリソースを生かしながら、戦略的・重点的に取り組む必要があります。

重点プログラムは、7つの都市力からみた課題に対応する重点的な施策の方向性を示すもので、これを推進することで、持続可能な発展を遂げる都市の土台をつくとともに、全施策の先導役として計画全体を力強く牽引します。

3 重点プログラムの概要



重点プログラム

1 環境を守るプログラム

最大の魅力といえる「海・山・川・緑」などの自然環境の保全・創出を推進します。

温暖化対策の率先実行や廃棄物に関する取組みの強化など、地球規模の環境問題に貢献する地域社会の実現を目指します。

2 命を守るプログラム

多くの高齢者が、まちを支える現役の力として、仕事や地域活動に生きがいをもって参加できる地域社会の実現を目指します。

災害や犯罪、身近な事故や病気、老い、障害、差別、暴力などへの対応が行き届いた、安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指します。

3 新しい芽を育むプログラム

学力の向上、社会性や職業観の育成など、生きる力を持った次世代を育てるため、特色のある学校教育を推進します。

だれもが安心して子どもを産み、そして育てることができる環境をつくります。

4 にぎわいを生むプログラム

地域の拠点ごとに、仕事や学びや生活するための諸機能を集約し、さらに、それぞれの拠点間や市外とを交通網で連結した、便利で暮らしやすい「コンパクトシティ」の実現を目指します。

大企業や中小企業、各地に点在する商店街の活性化を図るとともに、成長性や雇用吸収力のある企業の誘致などを進め、持続可能な産業・経済基盤の構築を目指します。

眠っている地域資源の掘り起こしや、都市の魅力につながる新たなブランドづくりを進め、「住みたい」と思われる魅力的なまちの環境を整備します。

5 地域力を育むプログラム

地域主権型の社会を見据え、市民がまちづくりの主役として市政に参画する社会と、それぞれの地域が個性や魅力を生かしながら、主役としてまちづくりに取り組む社会の実現を目指します。

根底にある基本的な戦略

★「人」は都市活力を生み出す最大のリソース（宝）

危機の克服なくして、横須賀の未来は語れません。言うまでもなく、「人」はまちの営みを支える源泉であり、都市活力を生み出す最大のリソースです。「次代を担う人をどのように育て」、「潜在的な力のある人をどのように生かし」、「人の数をどのように維持するか」、これが危機を乗り越え、持続可能な都市の礎を築く大きなカギとなります。

戦略1

未来を支える人材の育成

子どもたちは、まちの宝であり、未来を支える貴重な力です。少子化により絶対的な数が減る中で、それを補い、都市活力の維持・向上を図っていくには、一人ひとりが持てる能力と資質を向上させ、最大限に発揮するほか方法はありません。厳しい財政状況ですが、横須賀の未来を力強く支える人材の育成に、重点的に取り組む必要があります。

戦略2

高齢者の活力が生かされる社会の実現

加速し続ける高齢化は、医療、介護など社会保障経費の増加を招き、都市の体力を奪っています。一方で、プラス思考で考えれば、気力、体力、知識を備え、経験も豊富な高齢者が数多く存在していることは事実です。しかし、このマンパワーが十分に生かされていないのが実情です。今後、数、割合ともにさらに増える現実を踏まえれば、高齢者を都市活力の源泉と捉えない限り、横須賀の未来は立ち行かなくなります。多くの高齢者が、当たり前のよう、仕事や地域活動に参画する社会の実現に向けて、重点的に取り組む必要があります。

戦略3

人を惹きつける魅力の創出

横須賀は、都市の利便性、古くから築かれた産業基盤、豊かな自然、誇れる歴史・文化など、快適な都市生活を営むための要素をバランスよく備えています。これらの強みをさらに発揮して、まずは、横須賀に住む人が「住んでいて良かった」、「住み続けたい」と思える環境をつくるのが重要です。住む人が満足できる環境は、外から見ても魅力的であり、集客・定住や企業の誘致につながっていきます。まちづくりの基本を、「人を惹きつける魅力の創出」として、重点的に取り組む必要があります。